

防衛大臣 浜田 靖一 様  
航空自衛隊入間基地司令 池田 勝 様

## 入間基地航空祭でのブルーインパルスをはじめ 各種訓練飛行中止の中入書

私たちは、入間基地周辺に住む市民です。周辺の5市には100万人からの市民がそれぞれ働き、子育てし、老後を考え、その場所を平穏な住み良い所とするよう努力しています。

昨今、入間基地の変化には様々な危機を感じ、不安を禁じ得ない事象が多くなっています。ミサイル防衛計画のペトリオットミサイルの配備は周辺住民に知られることなく運び込まれ、それに対する市民の不安感、危機感には十分な説明もありません。落下物事故も頻発しています。また、今回滑走路の補修工事が行われるということですが、さらに大型の重量機種が発着することになると、この市街地の真ん中にある危険回避の場所もない基地の怖さは増すばかりです。

毎年この申し入れの際繰り返していることですが、私たちはあの1999年のT33A機の墜落事故の恐怖をしっかりと記憶しています。

今年も市民の不安をよそに、自衛隊の宣伝・広報のための航空祭が開催され、私たち市民の頭上でブルーインパルスの曲技飛行をはじめ危険な各種の「展示飛行」が行われるのでしょうか。ブルーインパルスの飛行プログラムが戦技研究を基本にしたものであることは広く知られていることです。従って危険性の大きいことは明らかです。そのような「展示飛行」を約100万人の市民が暮らしている市街地の上空であえて行うことは何故ですか。繰り返しますが、入間基地周辺は防衛省も認めている通り危険回避の出来る場所もない市街地で、沖縄より危険といわれているのです。

また日常の激しく繰り返される訓練に重ねて、低空飛行などによる大気汚染は詳細のデータがなく大変不気味なものです。自衛隊の1年間の使用燃料によるCO2排出量は約380万tで徳島・香川の両県全世帯の排出量を超えといわれています。いま世界的課題のCO2削減の観点からも、無視できないことです。特に燃料高騰で国民の多くが仕事や生活に支障を来しているとき、明らかに大量の燃料を使う「展示飛行」は中止すべきです。

基地の周辺に暮らす住民として下記申し入れ、責任ある回答を要請します。

記

- (1) 私たちは入間基地での航空祭におけるブルーインパルス曲技飛行は勿論、日常繰り返されている訓練飛行も一切中止するよう強く求め続けています。中止出来ない理由の説明を求めます。
- (2) 戦技訓練の危険について、どう認識されているのですか。
- (3) 危険回避はどう考えられているのですか。
- (4) 今航空祭のCO2排出量、燃料消費量を明らかにして下さい。  
以上の要望・質問に文書で回答して下さい。

2008年10月3日

### 入間基地航空祭でのブルーインパルスの曲技飛行の中止を求める会

狭山平和委員会・入間市平和委員会・所沢平和委員会・日高市平和委員会・原水協飯能市協議会  
原水協狭山市協議会・新日本婦人の会入間支部・新日本婦人の会狭山支部・新日本婦人の会所沢支部・埼玉  
土建入間支部・埼玉土建狭山支部・埼玉土建所沢支部・入間民主商工会・狭山民主商工会・  
所沢民主商工会・全日本年金者組合狭山支部・全日本年金者組合入間支部・入間地域労働組合連合会・狭山  
地区労働組合協議会・所沢地区労働組合協議会・飯能日高地域労働組合連合会・狭山ひとの会・狭山市教職  
員組合・医療生協さいたま狭山市支部・日本共産党入間市議会議員団・日本共産党狭山市議会議員団・日本  
共産党所沢市議会議員団・日本共産党飯能市議会議員団